

第36回

うつのみやこども賞だより

令和元年度 8回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『昔はおれと同じ年だった田中さんとの友情』

椰月美智子／著 早川世詩男／絵（小峰書店）



令和2年1月12日

うつのみやとしょかん
Utsunomiya city library

～読んだ本の感想より～

- ほっこりとした話で、特に大きな出来事はなかったけれど、おもしろかった。戦争の話などもさりげなく入っていて、勉強にもなると思う。
- メインは拓人と田中さんとの友情だけれど、戦争っぽいものが少しだけあったので、それもよかった。田中さんの講演で、戦争の悲さんさがよく分かった。
- とてもおもしろかった。田中さんの介護を通して仲良くなっていくのがよかった。田中さんが亡くなるまで仲良しでいてあげてほしいと思いました。
- 初めは「？」と思ったけど、おもしろかった。
- テンポが良くて、場面が思い浮かべやすく、さくさく読めた！主人公の気持ちも考えやすく、戦争の話もあるのに悲しくない。ほくも田中さんみたいな友達がほしい。

『トクベツな日』

白矢三恵／著（PHP研究所）

- 登場人物にそれぞれのなやみがあって、いろいろな思いもあって、みんなちがうところがよかったです。認知しようなども話に入っていて、よかったです。
- 4人の関係がどうなっていくのか気になって、スラスラ読めました。
- 登場人物1人1人のお話があるのが良かった。最後に大森さんと真央が仲直りして、勝と達也の二人の展開も良かった。共感しやすかった。
- 主人公が5年生で年が近かったので、楽しく読めたし、最初は4人のなやみから始まって、もめごともあったりして、けっこう暗い本かと思ったら、最後には読む側としてとてもうれしくなるような結末だったところが良かったです。
- 心がすれちがい合っていく中で、おたがいに理解し合って成長していく所がすごくいいなと思った。

『きつねの時間』

蓼内明子／著（フレーベル館）

- 表紙がお料理という感じがよかったと思う。読みやすかった。お父さんのインドカレーを「ようちゃんのインドカレー」と言う所が、この本にすごくあうなあ～と思いました。
- 登場人物の気持ちの表現が面白かったです。ふみとふみのママの関係だけではなく、りょうとふみの関係など、色々な人物との色々な物語があったよかったです。
- 家族が本当の親じゃない、りょうのことを知って、びっくりした。その時の話がかかりいいこと言っていると思った。
- 絵がかわいくて、題名も変わったかんじだったので、目をひくなと思いました。
- 日常のお話だったから、すごく読みやすかった。

『ジークの睡眠相談所』

春間美幸／著（講談社）

- 小さい子でも、おもしろくて読みやすいと思う。
- 表紙やキャラクターがかわいくて、友達にオススメしやすいなと思ったのと、内容がおもしろいので、すらすら読めたのでよかった。
- 表紙の絵がふしぎなかんじで引きつけられる。主人公の発想がだいたんでおもしろかった。
- 表紙から面白そう！！と感じました。話に盛り上がりがあって、友達にもすすめてやすい内容でした。
- ミントのねむけはすごいなと思いました。ジークとミントのコンビがなかなか好きになれるなと思いました。